

欧州特許庁とロシア知財庁・ユーラシア特許庁，翻訳と特許分類の分野で協力

2013年9月27日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、9月26日、EPO、ロシア連邦知的財産庁（Rospatent）及びユーラシア特許庁（EAPO）が、ロシア語・英語間の自動翻訳サービスを開始した旨のプレスリリースを行った。同時に、EPOとRospatentとの間で、Rospatentが自身の特許文献に「協力特許分類（CPC: Cooperative Patent Classification）」を付与することに合意したことも公表した。

プレスリリースによると、今回の自動翻訳サービスの開始により、EPOの「Patent translate」にロシア語が加わった。これにより、EPOの無料オンライン特許文献データベースである「Espacenet」上にて、150万件のロシア語特許文献が、無料の即時翻訳により英語で利用可能となった。現在、「Patent translate」では、ロシア語、日本語及び中国語を含む合計22言語と英語との間で、無料即時翻訳が利用可能である。

特許分類については、EPOとRospatentとの間で、Rospatentが2016年1月から新規特許文献へのCPCの付与を開始すること、及び2017年から既に公開された特許文献へのCPCの付与を開始することに合意した。プレスリリースによると、CPCは、2013年1月1日からEPOと米国特許商標庁（USPTO）が実施している25万の細展開を含む分類システムで、EPOが従前使用していたECLAシステムをベースとするもの。CPCは既に45を超える世界の特許庁における特許付与プロセスにおいて先行技術調査を行う手段として利用されている。

— EPOによる本プレスリリースは、以下参照 —

[Co-operation with Russia and Eurasian region intensifies: Language barrier in patent information removed](#)

— 「Patent Translate」のウェブサイトは、以下参照 —

[Patent Translate](#)

— CPCのウェブサイトは、以下参照 —

[Cooperative Patent Classification](#)

— EPOの機械翻訳サービスに関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁、新たに6言語の機械翻訳サービスを開始（2013年7月2日）（PDF）](#)

[欧州特許庁、ロシア知的財産庁と機械翻訳ツールの提供に向けた協力に合意（2012年5月17日）（PDF）](#)

— CPCに関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁と中国国家知識産権局、協力特許分類の使用に合意（2013年6月4日）（PDF）](#)

（以上）